

9 気仙沼市（けせんぬまし）

構成市町村		気仙沼市、本吉郡唐桑町	
合併期日（方式）		平成 18 年 3 月 31 日（新設合併）	
事務所の位置（合併後）		〒988-8501 気仙沼市八日町 1-1-1(旧気仙沼市役所) 0226 - 22 - 6600	
人口	面積	70,293 人（H12 国調）	226.67 平方 km（H16.10 国土地理院）
協議会名		気仙沼市・唐桑町合併協議会	
設立	解散	平成 17 年 3 月 17 日設立	
開催状況		平成 17 年 3 月 19 日～平成 18 年 3 月 23 日（計 9 回） （気仙沼市・本吉町・唐桑町合併協議会は平成 15 年 5 月 30 日～平成 17 年 3 月 3 日（計 34 回））	
組 織	会 長	気仙沼市長 鈴木 昇	
	副会長	唐桑町長 佐藤 和則	
	委 員	30 人（会長、副会長を含む。）	
事務局		10 人体制（気仙沼市 5 人、唐桑町 4 人、県 1 人） 旧気仙沼商工会議所内	
経 過			
平成 14 年 6 月 28 日	本吉郡 5 町で「市町村合併制度研究会」設置		
平成 14 年 8 月 2 日	気仙沼市、本吉町、唐桑町に対し、住民発議による合併協議会設置の直接請求		
平成 14 年 9 月 13 日	唐桑町議会は、直接請求に基づく合併協議会設置議案を特別委員会に付託		
平成 14 年 9 月 18 日	本吉町議会は、直接請求に基づく合併協議会設置議案を反対多数（賛成 9、反対 10）で否決		
平成 14 年 9 月 25 日	気仙沼市議会は、直接請求に基づく合併協議会設置議案を賛成多数（賛成 25、反対 1）で可決		
平成 14 年 11 月 13 日	気仙沼市と本吉郡 5 町の首長会談で、1 市 5 町の広域合併実現の可能性はないとの認識で一致		
平成 14 年 11 月 22 日	本吉町長は、気仙沼市、唐桑町との 1 市 2 町による合併を目指す方針を表明		
平成 14 年 12 月 13 日	唐桑町議会は、直接請求に基づく合併協議会設置議案を全会一致で可決		
平成 15 年 2 月 10 日	「気仙沼市・本吉町・唐桑町法定合併協議会設置準備会」設置		
平成 15 年 5 月 16 日	気仙沼市議会、唐桑町議会で法定協議会設置議案を可決		
平成 15 年 5 月 19 日	本吉町議会で法定協議会設置議案を可決		
平成 15 年 5 月 21 日	「気仙沼市・本吉町・唐桑町合併協議会」（法定協議会）設置		
平成 15 年 12 月 17 日	唐桑町は気仙沼市、本吉町との合併の是非を問う住民投票条例案を町議会に提案。議会は慎重審議が必要として特別委員会へ付託。		
平成 16 年 3 月 9 日	唐桑町議会は、合併の是非を問う住民投票条例案を全会一致で可決		
平成 17 年 1 月 16 日	唐桑町の住民投票の結果、賛成多数（賛成 80%、反対 20%）		
平成 17 年 1 月 29 日	合併協定調印式		
平成 17 年 2 月 4 日	各市町議会で合併関連議案が提案され、気仙沼市議会、唐桑町議会では全議案を可決。本吉町議会は廃置分合議案を反対多数（賛成 9、反対 10）で否決		
平成 17 年 2 月 22 日	本吉町の住民団体が合併実現を求める要望書と町民の署名 6,806 人分を町長と町議会議長に提出		
平成 17 年 2 月 28 日	本吉町議会は、再提案された廃置分合議案を反対多数（賛成 9、反対 10）で否決		
平成 17 年 3 月 3 日	第 34 回協議会で合併協議会の休止を報告 平成 17 年 3 月 31 日解散		
平成 17 年 3 月 7 日	本吉町議会は、議員提案による住民投票条例案を反対多数（賛成 9、反対 10）で否決		
平成 17 年 3 月 11 日	気仙沼市議会で気仙沼市、唐桑町による 1 市 1 町の法定協議会設置議案を可決		
平成 17 年 3 月 17 日	唐桑町議会で気仙沼市、唐桑町による 1 市 1 町の法定協議会設置議案を可決		
平成 17 年 3 月 17 日	法定協議会設置		
平成 17 年 3 月 27 日	合併協定調印式		
平成 17 年 3 月 30 日	両市町議会で合併関連議案すべてを可決		

〃	廃置分合申請
平成 17 年 7 月 7 日	県議会で廃置分合議案可決
〃	知事の廃置分合決定
平成 17 年 8 月 29 日	官報告示
平成 18 年 3 月 31 日	気仙沼市誕生

【総括】

住民発議による合併協議会設置請求や合併賛成が圧倒的多数（有効投票数の 8 割）を占めた唐桑町の住民投票結果に見られるように、1 市 2 町による合併を求める住民の意思が示されていたところ。

本吉町議会は、新市の財政計画への懸念や公立気仙沼総合病院の新築問題に関する協議が不十分であることなどを理由として廃置分合議案を 2 度にわたり否決

激しい議論を交わしながらも新市のあるべき姿について議論を尽くし、合併協定書の調印にまで至った経緯を考えると、最終的に 1 市 2 町の合併が実現できなかったことは極めて残念

気仙沼市と唐桑町は、合併特例法の期限を間近に控え極めて厳しい状況に置かれたが、合併実現を求める住民の熱意を背景に 1 市 1 町による合併を実現